

「事業名：浪江町をフィールドとした放射線研究・教育プログラム」 2019年度補助事業の実績・成果

弘前大学 連携市町村：浪江町

連携市町村との協定締結日：平成23年9月29日 現地拠点：双葉郡浪江町 浪江町役場健康保険課室内

事業のポイント

浪江町内をフィールドとして看護学及び放射線技術科学を専攻する学部学生及び大学院生に対する新たな教育プログラムを実施する。さらに、帰還後の住民や町職員の生活環境の改善・回復及び健康管理を目的とした調査研究を浪江町内において実施し、結果を住民に還元する。浪江町に居住されている住民のうち、独居男性高齢者をターゲットに社会参加を促す取り組みも実施する。また、こども園職員への放射線リスクコミュニケーションにかかる基礎資料や浪江町民のための放射線リカレント教材を開発およびそれらを用いた教育を実践する。

今年度の活動実績

浪江町内において、以下の教育研究活動を実施した。（主なもの）

- ・5月27日 浪江町幾世橋集合住宅集会所にて、独居男性高齢者の社会参加を促すことを目的とした、サロンを実施した。[本学教員2名、浪江町地域包括支援センター職員1名 参加者7名] 以降学生を帯同し5回実施
- ・7月17日 浪江にじいろこども園にて、開発基礎資料説明会を実施した。[本学教員1名 参加者 子ども園職員6名]
- ・9月25日 10月25日 浪江町なみえ創成小・中学校において新規開発放射線教育教材の学校教育現場への普及化を目的に教育実践を実施した。[本学教員1名、本学学生のべ3名 参加者 教諭13名 生徒8名]
- ・10月28日 浪江町役場 1階行政相談スペースにて、浪江町職員への健康相談を行う中で町職員との交流を通して行われる看護活動を経験する実習を実施した。[本学教員4名、学生2名 参加者23名]他3回実施
- ・11月23日～24日 浪江町十日市にて、健康不安がある住民への健康相談、動脈硬化・骨密度・筋力測定等健康チェックを行う活動の中で、教育プログラムによる支援実習も実施した。[大学教員4名、学生9名 参加者120名]他1回実施
- ・11月27日 浪江にじいろこども園にて、子育てサロン「ぽかぽかテラス」への支援を行う活動の中で、教育プログラムによる支援実習を実施した。[本学教員3名、学生3名 参加者 母子7組]
- ・12月11日～12日浪江町（南津島上集会所）で環境放射線モニタリング講習を実施[本学教員1名 学生2名 企業2名]



今年度の成果

昨年度と同様に浪江町内をフィールドとして看護学及び放射線技術科学を専攻する学生に対して教育プログラムを実践した。看護学では直接現地に赴いて学生がそれぞれ住民らに対して健康相談を行うことで支援の必要性について考える機会となった。放射線技術科学では放射性物質濃度のモニタリングシステムを浪江町内の施設敷地内に設置し、環境放射線・放射能モニタリングの基礎から実践までの実習を学生に行うことができた。

帰還後の住民や町職員の生活環境の改善・回復及び健康管理を目的とした調査研究についても、住民からの要望を反映させ、野生動物から身を守るための動物由来感染症対策ハンドブック第2版を発行した。

浪江町に居住されている住民のうち、独居男性高齢者をターゲットに社会参加を促すためのサロンを計画し、参加者のニーズを探りながら継続して実施した。

放射線リスクコミュニケーションにかかる基礎資料を用いたこども園職員への説明会を実施した。

放射線リカレント教材の学校教育現場への普及化に向けて、なみえ創成小・中学校において放射線教育を実施した。

看護学及び放射線技術科学の他、いずれのプロジェクトについても学生を帯同し、実習を行った。

	総参加人数
教員	47名
学生	44名
本学企画への参加者	316名
企業	5名